

令和8年度 第1回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月18日（月）
校内授業参観 13時20分から14時00分
学校運営協議会 14時00分から15時30分
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 宮地 亮 中野 昭良（学校支援コーディネーター）
鈴木 清吾 市川 隆義 大野 淳子 岩本 美雪
大内 幸恵 西尾 千明
- 4 欠席委員 山本 幸弘
- 5 オブザーバー 外山 堅吾（佐鳴台協働センター所長）
- 6 学校 榊原 秀洋（校長） 鈴木美音子（教頭）
坪井 秀臣（教務主任） 竹山 遼平（生徒指導主事）
渡邊 龍平（2学年主任） 鈴木 淳子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 淳子
- 9 会長の選出および副会長の指名
委員の互選により宮地委員を会長に選出した。続いて、会長の指名により中野委員を副会長に選出した。
- 10 議長の選出
司会より議長の選出について意見を求めたところ、中野委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - （1）学校の様子について
 - （2）令和8年度 学校運営の基本方針について
 - （3）いじめ防止基本方針について
 - （4）学校の課題（防災ヘルメット・家庭科支援員募集）について
 - （5）夢育やらまいか事業の承認について
- 12 会議記録
司会の教務主任より、委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和8年度 学校運営の基本方針について

- ・経営理念「中学校は大人になるための学校」を掲げ、社会で活躍するための資質を学ぶ場とする。3大ブランド（佐鳴湖学習・多文化共生・ICT）を推進し、40周年記念キャラクター「さなポンタ」も活用していく。（校長）
 - ・9月から教員は土日の部活動に携わらなくなる。現在、保護者が中心となり「はまクル」という地域クラブ立ち上げを模索しているが、地域からの支援やつなぎの役割をお願いしたい。（校長）
- 地域への発信は我々の役割であり、この方針を十分に理解した上で協力していきたい。（宮地会長）

(2) いじめ防止基本方針について

- 月1回の「こころのアンケート」で早期発見に努めている。SNSトラブル防止のため情報モラル教育を強化する。（生徒指導主事）
- ・アンケートは匿名で、自分以外（周囲）の困りごとを書けるのか。（宮地会長）
- 周囲の様子を書く欄もあり、実際に友人の変化を知らせてくれる生徒もいる。（生徒指導主事）
- ・教師の不適切な言動に関する調査はどのようになっているか。（大内委員）
- 教育委員会が直接、連絡ツール（さくら連絡網）を通じて生徒・保護者へ調査を行っており、学校を介さず透明性を確保している。（校長）

(3) 学校の課題について

- 防災頭巾に代わるヘルメット・防災頭巾の購入を教育計画でも検討したが、結論が出ていない。（教務主任）
- 小学生と違い、年齢が上がっているので、地震への対応方法が変化していくことはある。そのために地震の特性や代用できるものを教える「防災教育」が重要だと思う。（鈴木委員）
- 収納スペースの課題があるなら、折りたたみ式ヘルメットの導入を検討してはどうか。子供の安全を考えていきたいので、PTAでも話したい。（大内委員）
- 1年生の裁縫授業（ブックカバー製作）のサポート役として、ボランティア（9月末～12月初旬）の募集に協力してほしい。（教務主任）
- 技術的に難しくなければ民生委員が対応できるかもしれない。（中野委員、大野委員）

(4) 夢育やらまいか事業の承認について

- 特色ある学校づくりとして「佐鳴湖学習」と「エアロビクス活動」への専門講師招聘と継続を提案する。（教頭）
- 全員異議なくこれを承認した。

1.3 報告・連絡事項

- ・令和16年度の完成を目指し、佐鳴台地区施設複合化事業（小中一貫校化）が進められている。（校長）
- ・夏休みの補充学習を昨年度と同様に行うので、委員の方々にもご協力いただきたい。（教務主任）
- ・外国につながる生徒の指導・支援と放課後学習について、資料に日程が記載されているので、都合がつけば見に来てほしい。（教務主任）